

若手・リーダー社員をターゲットとし、  
TPS/IE手法を学ぶことで**改善力を高め**、各工程の  
『あるべき姿』を目指す！

- ・1回/年の受講
- ・各部門から10人選抜
- ・2チームに編成
- ・1日の講習

品質第一の合理化手法

TPS手法稽古



生産の仕組み改善

IE手法稽古



作業の動作改善

+

各部門へ展開



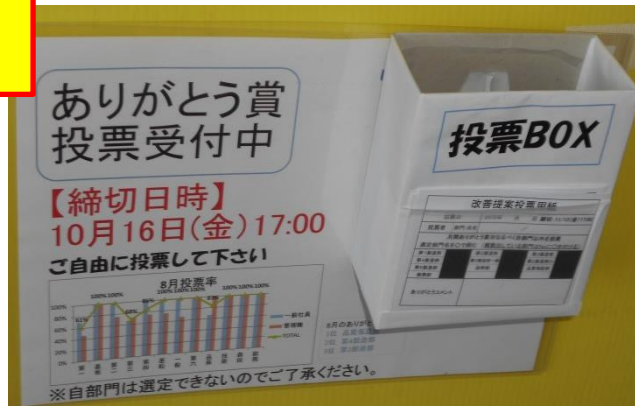
<b>予防・改善用紙</b>	作成日	2017年3月16日	区分	負傷リスク	優先度	テーマ名	A: 特級	審査結果			
		改善 合理				FE-SEM観察前サンプル置き場の変更による歩行ムダ削減	B: 1級 C: 2級	B			
・予防: 放置すれば不具合、欠陥などの問題を引き起こす状況(潜在的なもの)の原因を取り除くこと ・改善: 既に引き起こってしまった問題(顕在的なもの)の原因を取り除くこと											
区分	①品質 ②合理化 ③納期 ④5S・3T ⑤安全衛生 ⑥環境			負傷リスク、優先度	区分で安全を選択した場合のみ入力してください						
改善前				改善後							
<<点線>> ①CP研磨終了後→②顕微鏡(研磨仕上がり確認)→③研磨後サンプル置き場(CP横)→④次の作業確認(PC) <<実線>> ①次の作業確認(PC)→②サンプル取りに行く→③FE-SEM観察				<<点線>> ①CP研磨終了後→②顕微鏡(研磨仕上がり確認)→③研磨後サンプル置き場(FE-SEM)→④次の作業確認(PC) <<実線>> ①次の作業確認(PC)→②FE-SEM観察							
<p>【改善前】2月CP研磨数 82回 (25+49)歩数×82=6068歩 (17+33)秒×82=4100秒</p>				<p>【改善後】2月CP研磨数 82回 (3+25)歩数×82=2296歩 (2+17)秒×82=1558秒</p> <p>蓋付き透明容器を設置</p> <p>6068歩-2296歩=3772歩 4100秒-1558秒=2542秒</p>							
合理化 CO2算出	4100	秒/月	CO2換算早見表参照 × 0.0016	6.56	kg/月	合理化 CO2算出	1558	秒/月	CO2換算早見表参照 × 0.0016	2.4928	kg/月
◆問題点・課題 CP備品置き場の引き出しに、測定前後でのサンプル置き場があるため、何回も歩かなければいけない。 また、CPサンプルは、とても小さいサンプルになっているため、接触や水滴等に弱いため、蓋つきで保管が望ましい				◆対策の特徴 歩行のムダ削減 2542秒(約40分)の作業時間確保				◆実施日 2017年3月16日		◆合理化効果(時間) 2,542 秒/月	
								◆投資 材料: 4 kg/月 金額: 円 上記の計算入力		◆CO2削減効果(kg) 4 kg/月	
◆活動部門 品質保証部		◆名前(提案者)		◆波及効果							
◆サークル名・プロジェクト名				◆結果(必ず2項目以上は記入してください)							
				社会のよこび 時間短縮によりCO2削減に貢献							
				お客様のよこび							
				社員のよこび 測定しなければいけないサンプルが一目でわかり、置き場が近くて楽!							

## <改善提案ありがとう投票>

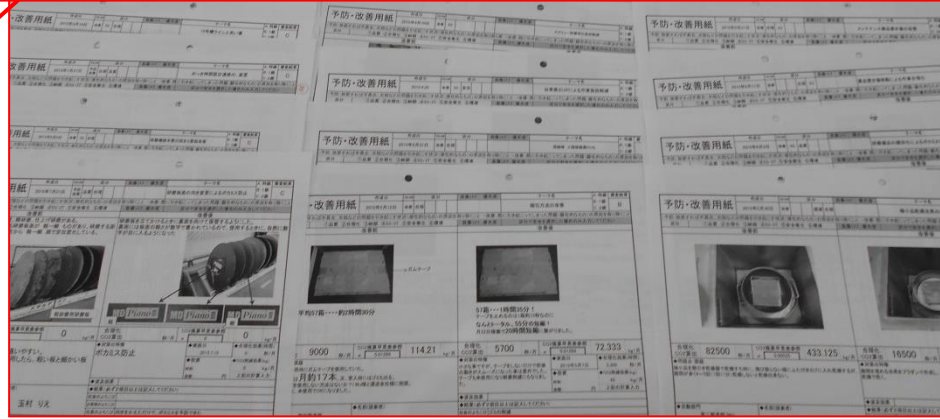
部門推薦



全従業員  
4回/年投票



月間ありがとう賞の中から  
経営層がありがとう賞をひとつ選定表彰



改善提案件数  
約3,000件/年



# CO2原単位推移

※原単位＝CO2排出量/生産量

CO2原単位

